

# 日本レンゲの会事務局会議報告

2010年12月9日 於:自由

## ヶ丘

### 経過報告

1. 東京の幼稚園での種蒔きは、事務局長が出向いて実施しました。
2. 在京役員自宅、事務局長の多賀城の自宅、多賀城の住宅地内の畑で種蒔きして、日照、排気ガス、砂地での栽培の比較をしています。
3. 様々な要望に応えられるようにする為に、開花時期に幅を持たせる工夫を続けています。
4. 庭での育成で他の草の生育に影響があるかどうか検証しています。

### 協議事項

1. 地球温暖化で開花時期が早まっているので、次回のレンゲまつりは、埼玉県を中心に育成に努力している地域を探し、現地の行事に参加する形を模索します。場合によっては、関西での開催を検討に入ります。
2. レンゲの花を楽しむことと育成について議論する場を設けるため、各地のレンゲまつりに出向くことは従来通りとします。
3. 庭先での栽培で、お年寄りから乳幼児まで楽しめる場となる工夫を続けます。
4. 多賀城レンゲまつりは、レンゲの花と茎が、環境からどのような影響を受けるかを、事務局長自宅の庭での栽培実験を検証しながら交流を図ります。
5. 多賀城市が従来から、あやめ園の土壌改良にレンゲを活用している場所は、今年まで当会が栽培していた地域に近く、駐車場もあるので、ホームページで紹介します。
6. 多賀城では、栽培面積をかなり減らし、住宅地内の山砂の畑の過湿を避けられる場所で土壌改良を目的とした取り組みにし、将来の稲作への利用に備える活動に進化させます。